



Catalyst 2960 スイッチ show platform コマンド

ここでは Catalyst 2960 スイッチ用に作成または変更されている **show platform** イネーブル EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立つ情報を示します。使用する場合には、必ずシスコのテクニカルサポート担当者の指示に従ってください。

show platform acl

プラットフォーム依存型 Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) マネージャ情報を表示するには、**show platform acl** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform acl {interface interface-id | label label-number [detail] | statistics asic-number | usage
asic-number [summary] | vlan vlan-id} [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

interface <i>interface-id</i>	指定されたインターフェイスについて、インターフェイス単位の ACL マネージャ情報を表示します。このインターフェイスは物理インターフェイスまたは VLAN (仮想 LAN) になることができます。
label <i>label-number</i> [detail]	ラベル単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>label-number</i> 範囲は 0 ~ 255 です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> detail — (任意) ACL マネージャ ラベル情報を表示します。
statistics <i>asic-number</i>	Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>asic-number</i> は、0 または 1 のいずれかのポート ASIC 番号です。
usage <i>asic-number</i> [summary]	Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) 単位の ACL 使用状況情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> summary — (任意) 使用状況情報の概要を表示します。
vlan <i>vlan-id</i>	VLAN 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>vlan-id</i> 範囲は 1 ~ 4094 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカルサポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカルサポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform backup interface

Flex Link コンフィギュレーションで使用されるプラットフォーム依存型バックアップ情報を表示するには、**show platform backup interface** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform backup interface [interface-id | dummyQ] [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

<i>interface-id</i>	(任意) すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対するバックアップ情報を表示します。このインターフェイスには物理インターフェイスまたはポート チャネルを指定できます。
dummyQ	(任意) ダミー キュー情報を表示します。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform etherchannel

プラットフォーム依存型 EtherChannel 情報を表示するには、**show platform etherchannel** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform etherchannel {flags | time-stamps} [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

flags	EtherChannel ポート フラグを表示します。
time-stamps	EtherChannel タイム スタンプを表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンド モード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform forward

ハードウェアが指定されたパラメータと一致するフレームを転送する方法を指定するには、インターフェイスの **show platform forward** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform forward interface-id [vlan vlan-id] src-mac dst-mac [l3protocol-id] [sap | snap] [cos cos]
[ip src-ip dst-ip [frag field] [dscp dscp] {l4protocol-id | icmp icmp-type icmp-code | igmp
igmp-version igmp-type | sctp src-port dst-port | tcp src-port dst-port flags | udp src-port dst-port}]
[| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

<i>interface-id</i>	タイプ、ポート番号などの入力物理インターフェイス。スイッチがパケットを受信するポート
vlan <i>vlan-id</i>	(任意) 入力 VLAN (仮想 LAN) ID。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。ID を指定せず、入力インターフェイスがルーティングされたポートでない場合、デフォルト値は 1 です。
<i>src-mac</i>	48 ビット送信元 MAC (メディア アクセス制御) アドレス
<i>dst-mac</i>	48 ビット宛先 MAC アドレス
<i>l3protocol-id</i>	(任意) パケットで使用するレイヤ 3 プロトコル。番号は 0 ~ 65535 です。
sap	(任意) Service Access Point (SAP; サービス アクセス ポイント) カプセル化タイプ
snap	(任意) Subnetwork Access Protocol (SNAP) カプセル化タイプ
cos <i>cos</i>	(任意) フレームの Class of Service (CoS; サービス クラス) 値。指定できる範囲は 0 ~ 7 です。
ip <i>src-ip dst-ip</i>	(任意、IP パケットの場合は必要) ドット付き 10 進表記の送信元および宛先 IP アドレス
frag <i>field</i>	(任意) 断片化した IP パケットの IP フラグメント フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
dscp <i>dscp</i>	(任意) IP ヘッダーの Differentiated Services Code Point (DSCP) フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
<i>l4protocol-id</i>	IP ヘッダーのレイヤ 4 プロトコル フィールドの数値。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。たとえば、47 は Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) で、89 は Open Shortest Path First (OSPF) を示します。プロトコルが TCP、UDP、Internet Control Message Protocol (ICMP)、または Internet Group Management Protocol (IGMP) の場合には、数値ではなく対応するキーワードを使用する必要があります。
icmp <i>icmp-type icmp-code</i>	ICMP のパラメータ。 <i>icmp-type</i> および <i>icmp-code</i> の指定できる範囲は 0 ~ 255 です。
igmp <i>igmp-version igmp-type</i>	IGMP のパラメータ。 <i>igmp-version</i> の指定できる範囲は 1 ~ 15 で、 <i>igmp-type</i> の指定できる範囲は 0 ~ 15 です。
sctp <i>src-port dst-port</i>	Stream Control Transmission Protocol (SCTP) のパラメータ。SCTP の送信元ポートおよび宛先ポートの範囲は 0 ~ 65535 です。
tcp <i>src-port dst-port flags</i>	TCP パラメータ。ヘッダーの TCP フラグ バイトの TCP 送信元ポート、宛先ポート、および数値。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。フラグ範囲は 0 ~ 1024 です。
udp <i>src-port dst-port</i>	UDP のパラメータ。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

■ show platform forward

コマンドモード イネーブル EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項 このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

例 たとえば、**show platform forward** コマンド出力表示やコマンドの意味については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドの「Troubleshooting」を参照してください。

show platform ip igmp snooping

プラットフォーム依存型 Internet Group Management Protocol (IGMP) スヌーピング情報を表示するには、**show platform ip igmp snooping** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip igmp snooping {all | control [di] | counters | flood [vlan vlan-id] | group ip-address
| hardware | retry [count | local [count] | remote [count]]} [ | {begin | exclude | include}
expression]
```

構文の説明

all	IGMP スヌーピング プラットフォーム IP マルチキャスト情報を表示します。
control [di]	IGMP スヌーピング制御エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> di — (任意) IGMP スヌーピング制御宛先インデックス エントリを表示します。
counters	IGMP スヌーピング カウンタを表示します。
flood [vlan vlan-id]	IGMP スヌーピング フラッディング情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> vlan vlan-id — (任意) 指定された VLAN (仮想 LAN) のフラッディング情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
group ip-address	IGMP スヌーピング マルチキャスト グループ情報を表示します。ここでは、 <i>ip-address</i> がグループの IP アドレスです。
hardware	ハードウェアにロードされる IGMP スヌーピング情報を表示します。
retry [count local [count] remote [count]]	IGMP スヌーピング再試行情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> count — (任意) 再試行カウントのみを表示します。 local — (任意) ローカル再試行エントリを表示します。
remote [count]	リモートエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> count — (任意) リモートカウントのみを表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
expression	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカルサポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカルサポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform layer4op

プラットフォーム依存型レイヤ 4 オペレータ情報を表示するには、**show platform layer4op** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform layer4op {acl | pacl [port-asic] | qos [port-asic]} {and-or | map | or-and | vcu}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

acl	Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。
pacl [<i>port-asic</i>]	ポート ACL レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <i>port-asic</i> — (任意) ポート Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) 番号を表示します。
qos [<i>port-asic</i>]	Quality of Service (QoS; サービス品質) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <i>port-asic</i> — (任意) QoS ポート ASIC 番号を表示します。
and-or	AND-OR レジスタ情報を表示します。
map	選択マップ情報を表示します。
or-and	OR-AND レジスタ情報を表示します。
vcu	Value Compare Unit (VCU) レジスタ情報を表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform mac-address-table

プラットフォーム依存型 MAC（メディア アクセス制御）アドレス テーブル情報を表示するには、**show platform mac-address-table** ユーザ EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mac-address-table [aging-array | hash-table | mac-address mac-address] [vlan
  vlan-id] [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

aging-array	(任意) MAC アドレス テーブル エージング配列を表示します。
hash-table	(任意) MAC アドレス テーブルのハッシュ テーブルを表示します。
mac-address <i>mac-address</i>	(任意) MAC アドレス テーブルの MAC アドレス情報を表示します。ここでは、 <i>mac-address</i> は 48 ビット ハードウェア アドレスです。
vlan <i>vlan-id</i>	(任意) 指定された VLAN（仮想 LAN）の情報を表示します。指定できる範囲は、1 ～ 4094 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform messaging

プラットフォーム依存型アプリケーションおよびパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、**show platform messaging** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform messaging {application [incoming | outgoing | summary] | hipperf [class-number]}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

application [incoming outgoing summary]	アプリケーション メッセージ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • incoming — (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報のみを表示します。 • outgoing — (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報のみを表示します。 • summary — (任意) アプリケーション メッセージング要求すべてに関するサマリー情報を表示します。
hipperf [class-number]	送信ハイパフォーマンス メッセージ情報を表示します。このクラス番号のハイパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、 <i>class-number</i> オプションを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 36 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform monitor

プラットフォーム依存型 Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 情報を表示するには、**show platform monitor** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform monitor [session session-number] [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

session <i>session-number</i>	(任意) 指定された SPAN セッションの SPAN 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform mvr table

プラットフォーム依存型 Multicast VLAN Registration (MVR) Multi-Expansion Descriptor (MED) グループ マッピング テーブルを表示するには、**show platform mvr table** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mvr table [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform pm

プラットフォーム依存型ポート マネージャ情報を表示するには、**show platform pm** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform pm {counters | group-masks | idbs {active-idbs | deleted-idbs} | if-numbers |
link-status | platform-block | port-info interface-id | vlan {info | line-state}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

counters	モジュール カウンタ情報を表示します。
group-masks	EtherChannel グループ マスク情報を表示します。
idbs {active-idbs deleted-idbs}	Interface Data Block (IDB) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> active-idbs — アクティブな IDB 情報を表示します。 deleted-idbs — 削除およびリークされた IDB 情報を表示します。
if-numbers	インターフェイス番号情報を表示します。
link-status	ローカル ポート リンク ステータス情報を表示します。
platform-block	プラットフォーム ポート ブロック情報を表示します。
port-info interface-id	指定されたインターフェイスのポート管理および動作フィールドを表示します。
vlan {info line-state}	プラットフォーム VLAN (仮想 LAN) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> info — アクティブ VLAN の情報を表示します。 line-state — ラインステート情報を表示します。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
expression	参照ポイントとして使用する出力内の式です。



(注)

stack-view キーワードは、コマンドラインのヘルプストリングには表示されていますが、サポートされていません。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform port-asic

プラットフォーム依存型ポート ASIC（特定用途向け IC）レジスタ情報を表示するには、**show platform port-asic** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-asic {cpu-queue-map-table [asic number | port number [asic number]] |
  dest-map index number |
  etherchannel-info [asic number | port number [asic number]] |
  exception [asic number | port number [asic number]] |
  global-status [asic number | port number [asic number]] |
  learning [asic number | port number [asic number]] |
  mac-info [asic number | port number [asic number]] |
  mvid [asic number] |
  packet-info-ram [asic number | index number [asic number]] |
  port-info [asic number | port number [asic number]] |
  prog-parser [asic number | port number [asic number]] |
  receive {buffer-queue | port-fifo | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]] |
  span [vlan-id [asic number]] | [asic number]
  stats {drop | enqueue | miscellaneous | supervisor} [asic number | port number [asic number]] |
  transmit {port-fifo | queue | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]]
  vct [asic number | port number [asic number]]
  version}[ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

cpu-queue-map-table [asic number port number [asic number]]	CPU キュー マップ テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • asic number —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 1 です。 • port number —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 27 です。
dest-map index number	指定されたインデックスの宛先マップ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。
etherchannel-info [asic number port number [asic number]]	EtherChannel 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • asic number —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 1 です。 • port number —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ～ 25 はポートを示します。
exception [asic number port number [asic number]]	例外インデックス レジスタ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • asic number —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 1 です。 • port number —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ～ 25 はポートを示します。

global-status [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>グローバルおよび中断ステータスを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
learning [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>ラーニング キャッシュのエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
mac-info [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>MAC (メディア アクセス制御) 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
mvid [<i>asic number</i>]	<p>マッピングされた VLAN (仮想 LAN) ID テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
packet-info-ram [<i>asic number</i> <i>index number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>パケット情報 RAM を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • index number — (任意) 指定されたパケット RAM インデックス番号および ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
port-info [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>ポート情報レジスタ値を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
prog-parser [<i>asic number</i> <i>port number</i> [<i>asic number</i>]]	<p>プログラム可能なパーサ テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。

receive { buffer-queue port-fifo supervisor-sram } [asic number port number [asic number]]	<p>受信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • buffer-queue — バッファ キュー情報を表示します。 • port-fifo — ポート FIFO 情報を表示します。 • supervisor-sram — スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。 • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
span [vlan-id asic number]	<p>Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • vlan-id — (任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。 • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
stats { drop enqueue miscellaneous supervisor } [asic number port number [asic number]]	<p>ポート ASIC の生の統計情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • drop — 削除統計情報を表示します。 • enqueue — エンキュー統計情報を表示します。 • miscellaneous — その他の統計情報を表示します。 • supervisor — スーパーバイザ統計情報を表示します。 • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
transmit { port-fifo queue supervisor-sram } [asic number port number [asic number]]	<p>送信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • port-fifo — ポート FIFO 情報レジスタの内容を表示します。 • queue — キュー情報レジスタの内容を表示します。 • supervisor-sram — スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。 • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
vct [asic number port number [asic number]]	<p>指定された ASIC、または指定されたポートおよび ASIC の VLAN 圧縮テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 • port number — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。
version	ポート ASIC のバージョンおよびデバイス タイプ情報を表示します。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。

include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。



(注)

stack {control | dest-map | learning | messages | mvid | prog-parser | span | stats [asic number | port number [asic number]] キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtring には表示されていますが、サポートされていません。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform port-security

プラットフォーム依存型ポートセキュリティ情報を表示するには、**show platform port-security** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-security [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform qos

プラットフォーム依存型 Quality of Service (QoS; サービス品質) 情報を表示するには、**show platform qos** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform qos {label asic number | policer {parameters asic number |
port alloc number asic number}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

label asic number	指定された ASIC (特定用途向け IC) の QoS ラベル マップを表示します。 (任意) asic number の場合、指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
policer {parameters asic number port alloc number asic number}	ポリサー情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> parameters asic number — 指定された ASIC のパラメータ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。 port alloc number asic number — 指定されたポートおよび ASIC のポート割り当て情報を表示します。ポート割り当て範囲は 0 ~ 25 です。ASIC 範囲は 0 ~ 1 です。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンド モード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート 担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート 担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform resource-manager

プラットフォーム依存型リソース マネージャ情報を表示するには、**show platform resource-manager** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform resource-manager {dm [index number] | erd [index number] | mad [index number] |
med [index number] | mod | msm {hash-table [vlan vlan-id] | mac-address mac-address [vlan
vlan-id]} | sd [index number] | vld [index number]} [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

dm [index number]	宛先マップを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
erd [index number]	指定されたインデックスの等価コスト ルート記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
mad [index number]	指定されたインデックスの MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
med [index number]	指定されたインデックスのマルチ拡張記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
mod	リソースマネージャ モジュール情報を表示します。
msm {hash-table [vlan vlan-id] mac-address mac-address [vlan vlan-id]}	MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルおよびステーション記述子テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> hash-table [vlan vlan-id] — すべての VLAN または指定された VLAN のハッシュ テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。 mac-address mac-address [vlan vlan-id] — すべての VLAN または指定された VLAN に対する 48 ビット ハードウェア アドレスで表される指定された MAC アドレスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
sd [index number]	指定されたインデックスのステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
vld [index number]	指定されたインデックスの VLAN (仮想 LAN) リスト記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> index number — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
 begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
expression	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード イネーブル EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項 このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform snmp counters

プラットフォーム依存型 SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) カウンタ情報を表示するには、**show platform snmp counters** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

show platform snmp counters [| {**begin** | **exclude** | **include**} *expression*]

構文の説明	
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード イネーブル EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項 このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform spanning-tree

プラットフォーム依存型スパニングツリー情報を表示するには、**show platform spanning-tree** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform spanning-tree synchronization [detail | vlan vlan-id] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

構文の説明

synchronization [detail vlan <i>vlan-id</i>]	スパニングツリー ステート同期情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • detail — (任意) スパニングツリー情報の詳細を表示します。 • vlan <i>vlan-id</i> — (任意) 指定された VLAN (仮想 LAN) の VLAN スイッチ スパニングツリー情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカルサポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカルサポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform stp-instance

プラットフォーム依存型スパニングツリー インスタンス情報を表示するには、**show platform stp-instance** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stp-instance vlan-id [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

<i>vlan-id</i>	指定された VLAN (仮想 LAN) のスパニングツリー インスタンス情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform tcam

プラットフォーム依存型 Ternary CAM (TCAM) ドライバ情報を表示するには、**show platform tcam** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform tcam {handle number | log-results | table {acl | all | local | mac-address | qos | station |
vlan-list} | usage} [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num
number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin
| exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table acl [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table all [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table local [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table mac-address [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table qos [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table station [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table vlan-list [ [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明	handle number	TCAM 処理を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 4294967295 です。
	log-results	TCAM ログ結果を表示します。
	table {acl all local mac-address qos station vlan-list}	ルックアップおよび転送テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • acl — Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) テーブルを表示します。 • all — TCAM テーブルをすべて表示します。 • local — ローカル テーブルを表示します。 • mac-address — MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブルを表示します。 • qos — Quality of Service (QoS; サービス品質) テーブルを表示します。 • station — ステーション テーブルを表示します。 • vlan-list — VLAN (仮想 LAN) リスト テーブルを表示します。
	usage	CAM (連想メモリ) および転送テーブル使用方法を表示します。

[[asic number [detail [invalid]] index number [detail [invalid]] invalid num number [detail [invalid]] invalid] [invalid]] [invalid]] [num number [detail [invalid]] invalid]]	<p>情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • asic number — 指定された ASIC デバイス ID の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 15 です。 • detail [invalid] — (任意) 有効または無効な詳細を表示します。 • index number — (任意) 指定された TCAM テーブル インデックスの情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 32768 です。 • num number — (任意) 指定された TCAM テーブル番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 32768 です。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。



(注)

ipv6、equal-cost-route、multicast-expansion、および secondary キーワードは、コマンドラインのヘルプストリングには表示されていますが、サポートされていません。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

show platform vlan

プラットフォーム依存型 VLAN（仮想 LAN）情報を表示するには、**show platform vlan** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform vlan {misc | mvid | prune | refcount | rpc {receive | transmit}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明

misc	その他の VLAN モジュール情報を表示します。
mvid	Mapped VLAN ID（MVID）割り当て情報を表示します。
prune	プラットフォーム保持プルーニング データベースを表示します。
refcount	VLAN ロック モジュールのようなリファレンス カウントを表示します。
rpc {receive transmit}	Remote Procedure Call（RPC）メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> receive — 受信した情報を表示します。 transmit — 送信した情報を表示します。
 begin	（任意） <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
 exclude	（任意） <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
 include	（任意）指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード

イネーブル EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。